

新企業理念・長期ビジョンの 策定について

2025年11月7日

 古河機械金属株式会社

東証プライム
証券コード:5715

これまでの歩み・取り組み(これまでの経営方針 経営理念)	3
社会的な環境の変化や課題認識	4
新・企業理念 全体像	5
新・企業理念 古河機械金属グループの企業理念	6
新・企業理念 社会へのメッセージ(使命)	7
新・企業理念 社会へのメッセージ(ビジョン・価値観・行動原則)	8
新・企業理念 全体像の総括	9
長期ビジョンの策定(2026～2035)	10
長期ビジョンの策定 重点項目	11～12

これまでの歩み・取り組み(これまでの経営方針 | 経営理念)



当時の 社会的背景

- リーマンショック後の経済停滞
- IT革命 / 携帯・ネット 技術革新
- 東日本大震災 / エネルギー政策見直し



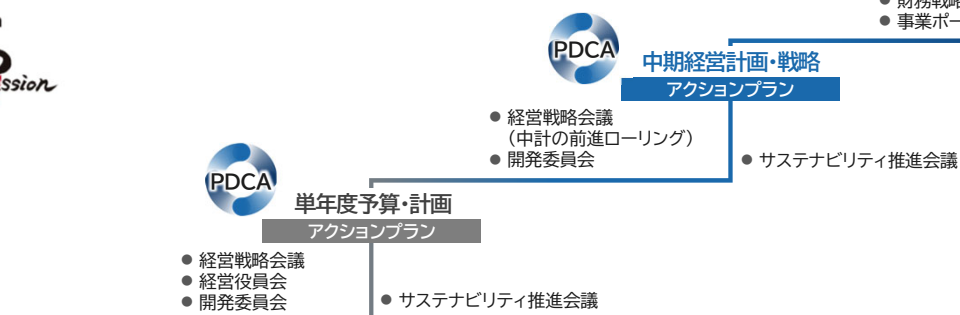
社会が大きく変化
価値観の多様化

現 経営理念体系の策定

創業140周年2015年策定



古河機械金属グループは、鉱山開発に始まり社会基盤を支えてきた技術を進化させ、常に挑戦する気概をもって社会に必要とされる企業であり続けます。





現在の社会的背景

- 持続可能な社会
- 多様性
- デジタルシフト・AI
- 働き方
- 価値観変化
- グローバル化
- 少子高齢化
- 人口減少
- インフラ老朽化
- 自然災害・減災・防災



業界の変化・求められる姿

- SDGs対応
- DE&Iへの取り組み
- 働き方改革
- DX・AIイノベーション
- ……



当社グループの課題

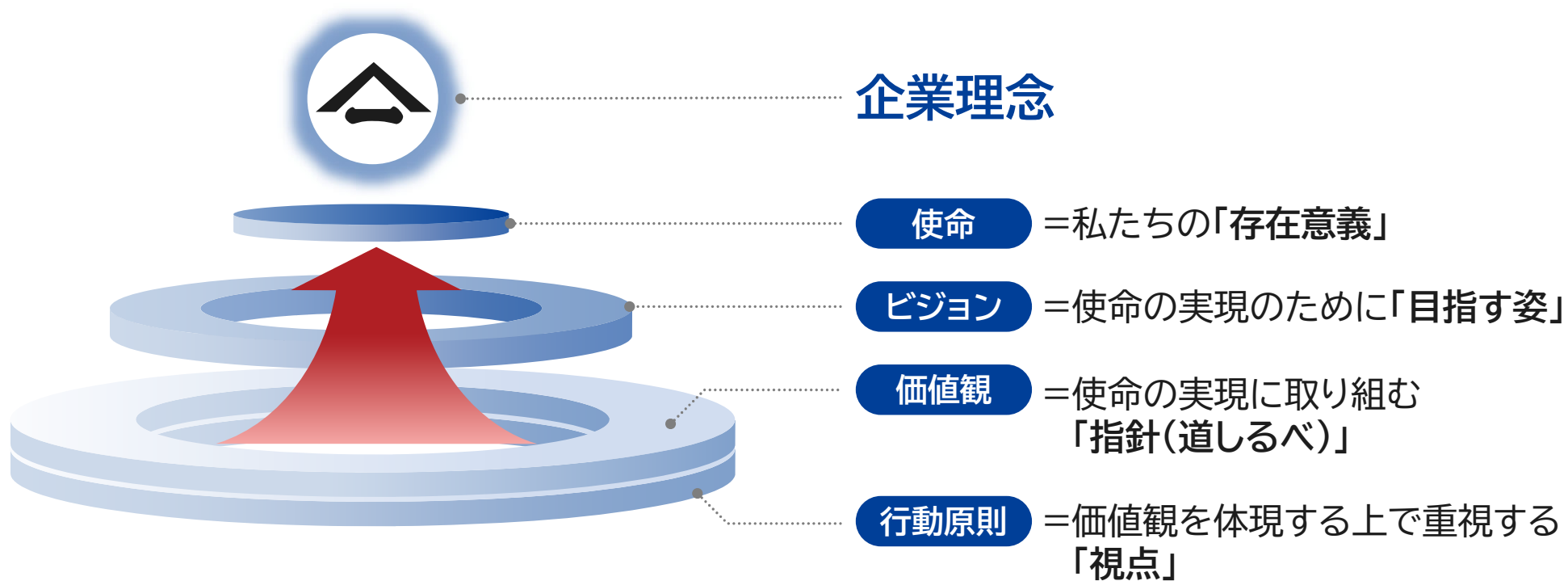
- SDGs DE&Iの取り組み進捗
- 「Power & Passion 150」の進捗・課題・反省
- レジリエンスを共創する企業へ

社会と深くつながりながらさまざまな社会課題の解決により貢献できる企業へと進化することが今求められている

創業150周年を迎え、
新・企業理念/長期ビジョンを策定



新企業理念体系(2025)





古河機械金属グループ 企業理念

当社グループは、1875年の創業以来、鉱山開発に始まる技術力により社会基盤を支え、
また、時代の変化に対応する自己改革を進めて、事業を変革してきました。

現代社会はますます多様化が進み、すべての人々が安心して暮らせる持続可能な
共生社会を実現することが、まさに求められています。

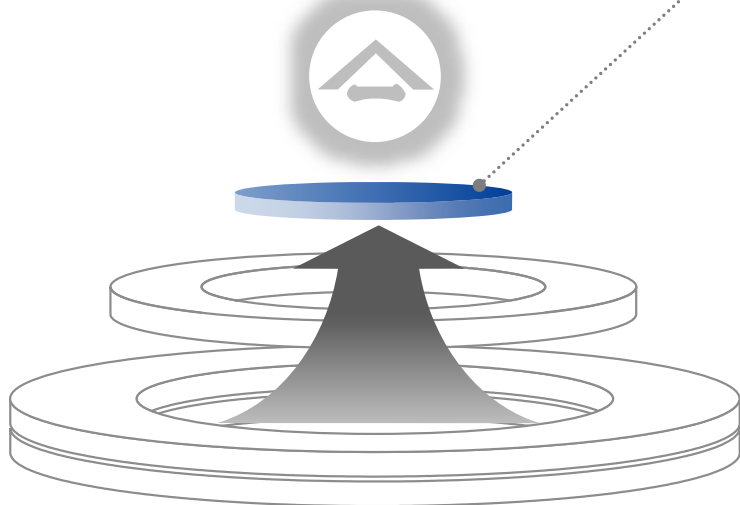
こうした社会課題を解決するため、当社グループはマーケティング経営を推進し、
社会的価値と経済的価値を両立する企業として、社会に必要とされる存在であり続けます。

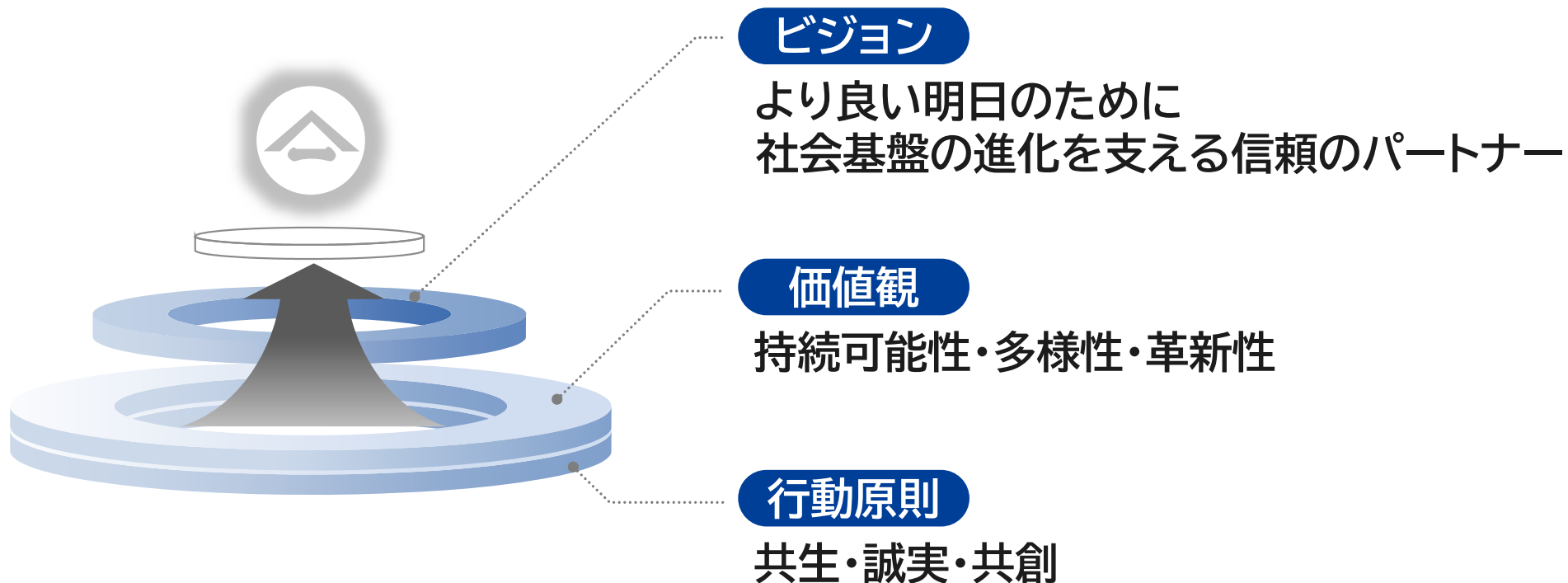


使命(ミッション)

環境と調和した 豊かな社会の実現

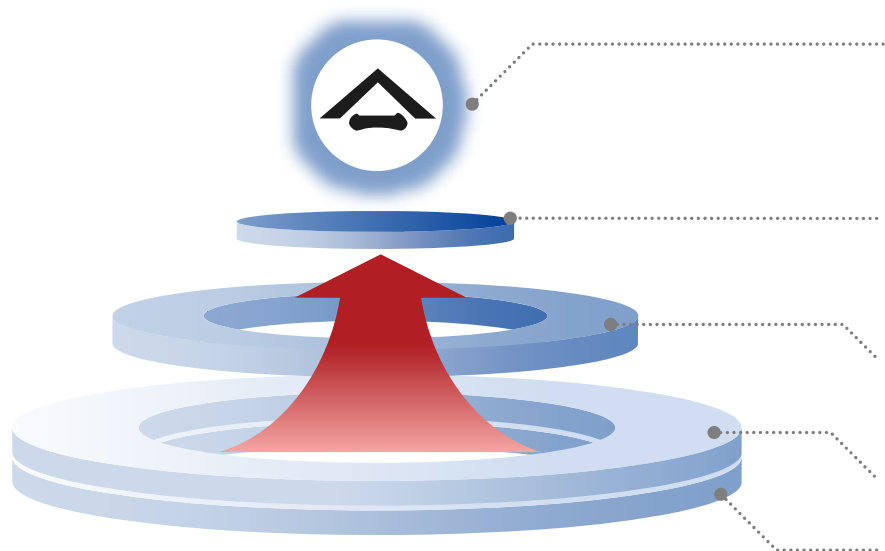
当社グループは、社会基盤を支えてきた
創造的解決力で、安全・快適で
環境と調和した社会の実現に貢献します。







新企業理念体系(2025)



古河機械金属グループ 企業理念

当社グループは、1875年の創業以来、鉱山開発に始まる技術力により社会基盤を支え、また、時代の変化に対応する自己改革を進めて、事業を変革してきました。現代社会はますます多様化が進み、すべての人々が安心して暮らせる持続可能な共生社会を実現することが、まさに求められています。こうした社会課題を解決するため、当社グループはマーケティング経営を推進し、社会的価値と経済的価値を両立する企業として、社会に必要とされる存在であり続けます。

使命(ミッション) 環境と調和した豊かな社会の実現

当社グループは、社会基盤を支えてきた創造的解決力で、安全・快適で環境と調和した社会の実現に貢献します。

ビジョン より良い明日のために 社会基盤の進化を支える信頼のパートナー

価値観 持続可能性・多様性・革新性

行動原則 共生・誠実・共創

次の10年の発展に向けて、長期ビジョンを策定



Vision F 2035

社会のレジリエンスを共創する企業へ

私たちは、マーケティング経営を進化させ
技術・人材・財務を強化して強靱な経営基盤を築くことにより、
環境や社会構造の変化に対応したインフラ整備を支え、
よりしなやかに持続する社会の創造に貢献します。

長期ビジョンの策定 | 重点項目(1)



目標① 社会基盤の進化への対応

重点分野

ニーズ



環境

防災・減災

環境配慮

つながる
モノの
拡大



モノのIT化

リアルタイムデータ活用による
運用の効率化

革新的サービスの創出



社会

労働力不足対応

都市整備

重点項目

- 道路、河川、ダム等のインフラ工事による防災・減災への貢献
 - 電動化、省エネ製品等の開発・供給による地球温暖化抑止への貢献
 - 多様な廃棄物の処理、再資源化を通じた循環型経済実現への貢献
-
- ICT、IoT関連用途素材の開発・供給による環境問題、社会課題対応への貢献
-
- 無人化・省人化製品の開発と提供による安全かつ高効率な作業実現への貢献
 - ・ 環境対応型搬送設備によるインフラ工事促進
 - ・ 地域特性に応じた都市整備への貢献
 - IoTを活用したサポートシステムによるカスタマーサクセスへの貢献



目標② 経営基盤の拡充

重点分野

ニーズ

重点項目



価値創造に繋げる最新の技術・業務への対応力向上

エンゲージメントの向上

組織の活性化(キャリア開発)



企業価値の向上

リスクマネジメント体制の整備



キャッシュフロー強化に向けた資金効率の向上

財務レバレッジ力の向上

投下資本に対する利益率の向上

- 人材価値向上に向けた研修教育の実施
- 健康で働きやすい就業環境の整備・改善
- ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの推進
- 個人の成長と組織の活性化に向けた人事制度の進化

- コンプライアンスの徹底
- 内部統制の高度化、監査体制の充実

- 営業／生産／物流工程全体の効率化を通じた運転資本削減
 - ・ 売掛債権早期回収の促進、在庫圧縮等によりキャッシュフロー創出力を強化
 - ・ 資金効率を高め有利子負債残高をコントロール
- 株主資本コントロールを通じた資本コストの最適化
 - ・ 配当政策の強化による純資産フロー圧縮
 - ・ 自己株式取得による資本コスト低減

重点項目の取り組みを継続

(※) 新中期経営計画は2026年5月の発表を予定しています

将来の見通しに関する記述等についてのご注意



本資料に記載されている、古河機械金属株式会社および古河機械金属グループについての予測、期待、想定、計画、認識、評価等の将来の見通しに関する記述は、当社が公表日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいております。これらの判断および前提は、その性質上主観的なものであること、また、実際の事業環境・事業活動は、様々な潜在的リスクや不確定要因を含んでおり、それらによる影響を受けることから、本資料の将来の見通しに関する記述内容またはそれによって示唆されている内容は、実際に生じる結果と大きく異なる可能性があります。なお、将来の見通しに影響を与え得る潜在的リスクや不確定要因については、当社の有価証券報告書や当社ウェブサイトの「事業等のリスク」の項目に記載されておりますが、これらの項目に限定されるものではありません。

したがって、本資料は、記載されている経営指標や予測の達成、将来の業績等について、当社として確約または保証するものではありません。また、新たな情報や将来の事象その他にかかわらず、当社は、本資料の日付以降において、本資料に記載された内容を修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料は、利用者の責任においてご利用ください。本資料に含まれる情報の信憑性、正確性、完全性、網羅性、適時性等について、当社は一切の保証を行うものではなく、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料は、当社の経営方針・経営情報等をよりよくご理解いただくことを目的として作成したものであり、いかなる有価証券の投資勧誘をも目的としたものではありません。この点を踏まえ、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関する決定は、投資者の皆様ご自身の責任においてご判断いただきますようお願いいたします。